

全学内部質保証委員会検証における意見への対応

部局等：ライフサイエンス支援センター

評価結果における意見等 (※問題点や改善を要する事項、改善が望まれる事項等)	対応状況
<p>利用者が極めて少ない RI 部門については、RI 部門の適切な規模について、縮小・廃止を含めて、早急な検討が必要と思われる。</p>	<p>自己点検結果および左記の意見を踏まえて、利用者にも今後の RI 部門使用予定などについて調査を行うとともに再度課題および対応策などを検討した。主要な課題と対応策は以下となる。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RI 部門の利用登録者数や利用者数、使用数量の大幅な減少（回復する見込みがない） ・RI 部門管理者としての放射線取扱主任者の人材確保が困難 ・築 40 年程度経過しており、建物の老朽化により法令順守が困難 ・RI 部門維持費用に対してその効果が極めて低い ・今後の利用計画がほとんど無い <p>【対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数による RI 実験の場合、高エネルギー医学研究センターで受け入れが可能 <p>そこで、上記の課題と対応策について松岡キャンパス放射線障害予防委員会、ライフサイエンス支援センター運営委員会、研究推進委員会、医学系部門会議及び教育研究評議会での審議と承認を経て、令和 6 年 10 月 23 日の役員会において RI 部門の廃止が正式に決定された。</p>
<p>自己点検・評価書では、生物資源部門とバイオ実験機器部門においてセンター独自の定期的な点検がなされておらず、センター運営委員会にて実施を検討すると書かれていた。しかし、センター全体としての自己点検・評価が定期的になされているのであれば、部門における独自の定期点検までは不要と思われる。</p>	<p>左記の指導の通り、各部門独自の定期点検は実施しないこととし、センター運営委員会にて定期的に自己点検・評価を実施することとする。</p> <p>また毎年センターニュースを発行し、センターの利用状況や課題を詳細にまとめることでセンターの適切な運営状況を自己確認していると言える。今後も、センターニュースや運営委員会を通じてセンターの目的を達成するための運営が行われているかを自己点検する。</p>
<p>福井大学ライフサイエンス支援センターのホームページには各部門の設置目的が記載されているが、「福井大学ライフサイエンス支援センター」としての設置目的の記載が見当たらない。バイオ実験部門に特化していないのであれば、ホームページの構成を検討してはいかがか。</p>	<p>左記の指導を踏まえ、福井大学ライフサイエンス支援センターホームページのメインページに「センターの目的」及び「センター長の挨拶」を追加した。また、「各部門からのお知らせ」、「機器の概要」等は随時更新することで、より一層利用者に分かりやすく、有益な情報提供を達成するように進める。</p>